

# JACS NEWSLETTER

日本消費者行動研究学会ニューズレター

第24巻第3号

発行日●2016年10月11日

発行●日本消費者行動研究学会事務局

## 第53回 消費者行動研究コンファレンスの概要

### <統一論題>

## 広告デジタルアーカイブの可能性

秋の消費者行動研究コンファレンスの開催日程が決定しましたので、ご案内いたします。

第1日目には、自由論題報告、会員総会、懇親会を予定しています。第2日目には、統一論題、公募シンポジウムを予定しています(今回コンファレンスは、日本広告学会関東部会と共催です)。

### －開催概要－

- 開催日程： 2016年11月12日(土)・13日(日)  
会場： 専修大学・生田キャンパス(神奈川県川崎市)  
研究会参加費： 4,000円[学生：2,000円]  
※非会員の学生は、会場受付にて学生証の提示が必要になります。  
懇親会参加費： 5,000円  
参加申込： JACS Webサイト(<http://www.jacs.gr.jp/>)、FAXで受け付けております。  
参加申込締切： 10月28日(金)必着  
(注)： 第2日目の日曜日は、食堂、コンビニともすべて閉店しており、校舎付近で昼食を購入することは一切できません。昼食をご持参いただきますようお願いいたします。

#### [第1日目]

- 10:20 - 10:30 開会の辞  
10:30 - 12:15 自由論題報告  
12:15 - 13:30 昼食休憩(役員会)  
13:30 - 16:00 プロポーザル賞  
16:00 - 16:15 休憩  
16:15 - 17:00 会員総会  
17:00 - 17:45 選挙  
18:00 - 20:00 懇親会

#### [第2日目]

- 10:00 - 11:10 統一論題講演  
11:10 - 11:20 休憩  
11:20 - 12:40 統一論題パネルディスカ  
ッション  
12:40 - 13:40 昼食休憩  
13:40 - 15:40 公募シンポジウム  
15:40 - 15:50 閉会の辞

## —統一論題—

### 「広告デジタルアーカイブの可能性」

久保田進彦（青山学院大学）

マーケティング活動の中でも、広告やイベントといったコミュニケーション活動は、とりわけ華やかで目を引くものです。マーケティング・コミュニケーションの担当者らは、より多くの消費者の気持ちを惹きつけ、ブランドの魅力を高めるために、さまざまな努力を続けてきました。

しかしひとたびキャンペーン期間が終了すると、ほとんどの広告物は忘れ去られていきます。それがいかに多くの費用と労力を費やしたものであっても、消費者の目に再びふれることは極めて稀です。マーケティング・コミュニケーションは「消費されるもの」としての性格を強く持っています。これはある意味で、大変「もったいない」ことです。広告を見返すことで、そこから得られるものは少なくありません。なぜなら広告は時代を映す鏡であるからです。社会の情勢、消費者の生活、そして企業の経営姿勢など、さまざまなものを、過去の広告から読み取ることが可能です。そしてそれは、消費者の行動について興味を持つ研究者にとって、きわめて刺激的な素材となるはずで

す。残念ながら、これまでキャンペーン終了後の広告に触れる機会は極めて限られていました。その理由は二つです。一つは広告が体系的に整理収集されてこなかったこと、もう一つは著作権を代表とする法的な問題が存在したことです。これらの理由から、私たち研究者が過去の広告に接することは困難でした。

しかし状況は変わりつつあります。広告コミュニケーション領域における日本有数の非営利組織である吉田秀雄記念事業財団が、広告アーカイブの構築に取り組むことになったためです。昨年秋に、東京大学の吉見俊哉先生を座長としたプロジェクトが発足し、本学会からも慶應義塾大学の清水聰先生や私がメンバーとして加わっています。現在このプロジェクトでは、国立情報

学研究所の高野明彦先生が中心となり、デジタルアーカイブが構築されつつあります。また法律関係の問題についても、この方面に詳しい弁護士の方々が参加して、解決を試みています。

アーカイブ化された膨大な広告を利用することで、私たち研究者に何が可能となるのでしょうか。広告アーカイブの活用は、まだまだ未知数といえます。そこで今回はアーカイブ・プロジェクトの中心的メンバーでもある東京大学の吉見俊哉先生と国立情報学研究所の高野明彦先生、そして吉田秀雄記念事業財団の馬場栄一氏にご登壇いただき、広告アーカイブの意義や可能性について語っていただく予定です。またさらに、日本広告学会会長である岸志津江先生（東京経済大学）や、クリエイターとしての実務経験も豊富な佐藤達郎先生（多摩美術大学）にも加わっていただき、アーカイブス研究の未来についてパネルディスカッションも開催する予定です。

「広告とは科学以上、芸術未満のものである」という言葉があります。広告は芸術と呼べるほどのものではないが、論理だけでは捉えきれない側面があるということでしょう。広告は複雑で社会的産物であるがゆえ、その分析や解釈にはさまざまなアプローチが存在し、また得られる成果も多彩だと考えられます。今回の統一論題では、このような観点から、広告アーカイブの意義や価値について意義深い議論が展開できればと考えております。

## 公募シンポジウムについて

本学会のコンファレンスにおいて公募シンポジウムというジャンルが役員会、会員総会で認められました。この公募シンポジウムというのは、本学会会員によって自主的にテーマ設定、企画、運営されるシンポジウム（ワークショップ、パネルディスカッションを含む）です。

本学会では、これまで統一論題が理事を中心として学会企画として開催されてきていますが、会員の自主企画のシンポジウムを加えることが、本学会の会員の相互交流をはかり、研究活動を促進すると考えます。他の関連学会や国際学会でもこのような企画はよく行われています。

例えば、日本心理学会では、同様の公募シンポジウムが開催され、例年 100 以上の公募シンポジウムが 3 日間の開催期間中に同時並行で開催されています。その中には、消費者行動に関するシンポジウムも例年いくつかあります。また、本年 7 月に行われた国際心理学会議（ICP2016）でも、公募シンポジウムが 255 件（contributed symposium および thematic session）あり、本学会員の皆様も多数発表され、海外の研究者との議論がありました。このような公募シンポジウムのような発表ジャンルは、Society for Consumer Psychology, Association for Consumer Research などの海外の消費者行動研究の学会でもあります。

公募シンポジウムの規定を下記に述べます。時間は、現段階では、2 時間以内としています。企画代表者（学会員に限る）は、e-mail（jacs@asas.or.jp）にてお申し込み下さい。申し込み時に、テーマ（和文・英文）、企画趣旨（400 字以内）、登壇予定者（会員・非会員の別、氏名、所属）、各話題提供者の発表要旨（200 字以内）を明記して下さい。採択された場合、企画主旨はそのまま大会の報告要旨集に記載されます。申し込みは会員（学会員）1 名につき 1 件とします。企画代表者以外の企画者がいる場合は 2 名以内、話題提供者 5 名以内、指定討論者 2 名以内、司会 2 名以内でシンポジウムを構成して下さい。申し込み多数の場合、選考により採択されない場合もあります。また、テーマが本学会にそぐわない場合にはお断りすることがありますのでご了承下さい。尚、応募後の取り下げは、認められません。非会員の登壇者の方で、当該公募シンポジウムのみに参加される方も大会参加費が必要です。代読やインターネットを通じた参加（Skype 等）は認めません。このような規定がありますが、どうか学会員の皆様、ふるってご応募ください。本学会で自由論題のセッションを企画した時も、はじめはほとんど申込者がいませんでしたが、今はかなりの数の会員が申込んでいらっしゃいます。公募シンポジウムもいずれそのようなことになることを期待します。

最後になりますが、このような自主的な企画制度をつくることは、本学会の国際化という点でも重要なことですが、単に海外の真似をすることが目的ということではありません。このような自主企画の制度が、国際的に独自性がある研究を促進させ、そのような研究について議論し、国際的に発信していく契機になることが重要であると考えます。

（早稲田大学 竹村和久）

**学会費の「銀行振込み」についてのお願い**

銀行振込をご利用の場合、大学名や企業名などの「組織名」から入力されますと、振り込みました「個人名」が特定できないというケースが出てきます。「銀行振込」の際には、必ず「個人名」から記入していただきますよう、ご協力をお願い致します。

やむを得ず組織名から（または組織名のみ）の振込人名になる場合は、事務局まで e-mail にてご一報いただきますようお願い致します。

**ご所属・ご住所の変更についてのお願い**

ご所属やご住所が変更となる際には、必ず JACS 事務局へご連絡ください。就職や異動などの慌しさが一段落したらで結構ですので、お手数ではございますがよろしくお願い致します。

また、「郵便局の振込用紙」に変更箇所を明記いただく方がおりますが、手続上、データベースの修正は年度末となってしまいます。変更のご連絡は、下記 JACS 事務局までお願い致します。なおホームページからもお手続きいただけますので、ご活用ください。

**新入会員の募集について**

本学会への入会を希望される方は、ホームページから入会申込書をダウンロードの上、必要事項を記入、捺印の上、事務局まで郵送でお送り下さい。

**●入会資格**

[学術会員]

消費者行動の研究・教育に従事する大学の専任教員、大学院在籍者（在籍経験者を含む）、およびそれに準ずる者（文部省が学術研究団体と認める学会の正会員、大学の非常勤講師としての教歴を有する者、等）。但し、学術会員 2 名の推薦が必要。

[賛助会員]

本学会の趣旨に賛同する法人および個人。

**●年会費**

[学術会員] 10,000 円

（但し、大学院生は 5,000 円に減免）

[賛助会員] 個人会員 1 口 5,000 円

法人会員 1 口 50,000 円

**●日本消費者行動研究学会 (JACS) 事務局のご案内●**

(事務局) 関西学院大学 商学部 須永努研究室  
〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155  
Email: sunaga@kwansei.ac.jp

(事務取扱) 日本消費者行動研究学会 事務取扱  
〒112-0012 東京都文京区大塚 5-3-13 ユニゾ小石川アーバンビル 4F  
一般社団法人 学会支援機構内  
Tel: 03-5981-6025 Fax: 03-5981-6012 Email: jacs@asas.or.jp

<JACS Website>

<http://www.jacs.gr.jp/>